

密着イベントレポート

# みよしに笑顔が集まった！ 世界一のいも掘りまつり

町が誇る、日本の里100選に選ばれた「<sup>さんとめしんでん</sup>三富新田」。約440mという長い<sup>じわりうね</sup>地割畝を使い、いも掘りを通じて町の自然、歴史、文化、食を体験できる「いも掘りまつり」が快晴のなか10月13日(土)に行われました。



いも掘り当日は秋晴れに恵まれ、三富新田の広大な土地で約650人がいも掘りを楽しみました。



とっても大きな  
いもがとれたよ！



Q: いも掘りまつりで掘ったいもの種類は？  
A: 甘味が強くて味も良い「<sup>べにあまり</sup>紅東」です！



**写真説明** ①小さな手で大きなおいもを持ち上げてパチリ！②家族連れが多く、大人も一緒に楽しみました。③老若男女問わず多くの人々が参加。子どもの話に自然と笑顔が。④スタンプラリーが行われ、参加者に「みよし野菜」が当たる抽選会を開催。⑤待ちに待った抽選会の当選発表。自分の番号はあるかな？⑥雑木林探索を楽しむ家族。この日はどんぐりやくぬぎの実がいっぱい落ちていました。⑦畝の先まで歩きます。右の盛り土(畝)は約440メートルもあります。⑧食ブースでは野菜販売や地元食材を使ったうどんなどを販売。おいしそうにうどんをほおぼる様子。



子どもたちは大きな「おいも」を掘りあげ、力いっぱい持ち上げる。大人たちは子どものように無邪気にいも掘りを楽しんだ。

## 約650人が参加

鮮やかな青空、爽やかな風、土の香り。10月13日(土)、世界一のいも掘りまつりが日本の里100選に選ばれた「<sup>さんとめしんでん</sup>三富新田」で行われました。関東各地から約650人の参加者が集まり、町のマスコット「みらいくん」のぞみちゃんも登場し、大勢の家族連れでにぎわいました。

このイベントは、いも掘り会場の畑の畝の長さが約440メートルということから「世界一」と銘打って行われ、町内外に幅広くの特産品「サツマイモ」をPRするために開催。スタンプラリー、ムギ迷路、雑木林の探索など、いも掘り以外のイベントも行われ、自然とのふれあいを楽しみ、日常生活から離れ、ゆっくりと散策を満喫しました。

## 三富新田とは

三富新田は、江戸時代に開拓された土地の地割が今もなおよく残されている地域で、1軒分の地割は屋敷地・畑・平地林と細長く短冊状になっており、それが地域全体に整然と並んでいます。

## 生で見る地割の景観

上富小学校の屋上を開放して行われた「<sup>たぐくしゅう</sup>三富新田地割見学」では、「短冊状に作られた地割を生で見る」ことができ感動しました。「この声が多数あり、皆さんその光景を目に焼き付けていました。さらには小学校の校庭に「食ブース」が登場。焼き芋や地元で採れた新鮮野菜が販売され、行列ができるほど大盛況でした。

## 世界一の「笑顔」

「子どもがとても喜んでくれて、家族みんなで楽しむことができました。またぜひ参加したいです。」参加した家族から寄せられた言葉です。今回のイベントで一番印象に残ったのは参加者の「笑顔」。その笑顔はまさに世界一の「笑顔」でした。



▲上富小学校屋上から見た短冊状に並んだ「三富新田」。いも掘りと並び、参加者の反響が大きかった。

笑顔がいっぱい！ BEST SNAP

